

2019年 西日本こども研修センターあかし 児童養護施設職員指導者研修（実施要項）

（テーマ：地域において子どもを養育する児童養護施設）

1 目的

児童虐待に関する知見を深め、児童養護施設での適切な生活支援のあり方を検討するとともに、機能的なチーム運営や人材育成に寄与する指導的職員としての資質の向上を図る。

2 対象

児童養護施設で基幹的職員等指導的立場にある主任指導員、主任保育士、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、個別対応職員、グループホーム長等で、**児童福祉施設経験通算7年を満した者**
*各施設1名の参加枠とする

3 定員

80名

※申込みが多数の場合、経験年数（長い方を優先）、申込時期（早い方を優先）、地域（参加の少ない地域を優先）等を考慮して参加者を決定いたします。

4 期間

2019年（令和元年）11月19日（火）～11月22日（金）（4日間）

5 会場

あかし保健所 2階 201会議室（兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7） ※地図参照

6 内容

	時間	科 目	講 師	内 容
1 日 目 午 後	13:00	【開会式】		開会挨拶
	13:30			オリエンテーション
	13:30	【講義1】 地域において子どもを養育する児童養護施設	藤本政則 (社会福祉法人立正学園)	「社会的養育ビジョン」では、施設を地域資源として多機能化する方向性が示された。地域における子どもを養育する児童養護施設の実践について考察する。 《参考：領域①～⑧》
	15:30	【グループ討議】 各施設の現状と課題	参加者	各施設の紹介を行い、講義1を受けて感じた自施設の課題等について意見交換する。 《参考：領域④》
	15:45			
	17:45			
17:45	【意見交換・振り返り】		受講生同士で意見交換 本日の研修から得られたことについて振り返る。	
18:15				
2 日 目 午 前	9:30	【センターからの 情報提供】		当センターの研修、情報収集・提供事業等について最新情報を案内する。
	9:45			
	9:45	【講義2】 子どもが施設で暮らすということ	星野崇啓 (さいたま子どものこころクリニック)	子どもに対して、家族から分離されたことがもたらす心理的影響、施設生活と家族との距離の変化を踏まえ、行動上の問題を解説し、生活環境の整備、人間関係の把握などの取り組みの重要性と社会的養護の意義を考察する。 《参考：領域①～⑥》
12:00				
2 日 目 午 後	13:00	【講義と演習】 機関連携のための記録作成	中垣真通 (子どもの虹情報研修センター)	記録作成の前提となる行動観察の視点、記録の仕方、経過のまとめ方、ケース概要をまとめる視点等を踏まえ、特に、法28条申立等の法的対応の判断材料となる子どもの行動観察等の記録作成について、事前課題を通じて演習する。 《参考：領域①④⑤⑥》
	17:00	【振り返り】	参加者	本日の研修から得られたことを振り返る。
	17:00			
17:15				

	時間	科 目	講 師	内 容
3 日 目 午 前	9:30	【講義3】 親子の関係性への理解と 施設における支援	久保田まり (東洋英和女学院大学)	子どもの発達に重大な影響を及ぼすアタッチメントの理解と、家庭でのアタッチメント形成が不十分なまま施設に入所してくる子どもに対して、改めて職員とアタッチメントを形成するために、必要な環境や関わりについて理解を深める。 《参考：領域⑤⑦》
	11:30			
3 日 目 午 後	12:45	【事例検討1】 子どもと家族の支援にお けるチームアプローチ 大グループ ----- 小グループ	報告：参加者 助言： (大グループ) 森茂起 (甲南大学) (小グループ) 井上真 (横浜いずみ学園) 国分美希 (至誠大空の家)	事前課題から選定した事例について、大グループと小グループに分かれて、アセスメント、カンファレンスの演習として事例検討を行う。子どもや家族だけでなく、関係する職員への支援も含めて検討する。《参考：領域①～⑦》
	14:30		杉山史恵 (和敬学園) 城村威男 (入舟寮) 芳賀英友 (同仁会子ども ホーム及び同仁会児童家 庭支援センター) 西田泰子 (常葉学園短期 大学)	
	15:00	【事例検討2】 子どもと家族の支援にお けるチームアプローチ 大グループ ----- 小グループ		前半と入れ替わり、大グループだった人は小グループで、小グループだった人は大グループで事例検討を行う。《参考：領域①～⑦》
	16:45			
	16:45 17:00	【振り返り】	参加者	本日の研修から得られたことについて振り返る。
4 日 目 午 前	9:30	【講義4】 施設における性問題への 対応	八木修司 (関西福祉大学)	対応に苦慮する性問題行動の課題について解説し、他機関による援助システムを検討する。 《参考：領域③～⑦》
	11:30			
4 日 目 午 後	12:30	【シンポジウム】 地域において子どもを養 育する児童養護施設	Co:増沢高 (子どもの虹情報研修セ ンター) シポジスト： 畑山麗衣 (NPO 法人 Giving Tree) 松永忠 (光の園)	施設生活に対する葛藤を経て、子どもや養育者の支援者として、現代の新たな当事者支援の取り組みや、子どもの視点から施設のあり方を再編した実践から、地域において子どもを養育する児童養護施設の大切さを共有する。 《参考：領域①～⑧》
	15:00			
	15:00 15:10	【振り返り】	参加者	本日の研修から得られたことについて振り返る。
	15:15 15:30	【閉会式】		閉会挨拶 アンケート記入、事務連絡

《参考》改定 児童養護施設の研修体系～人材育成のための指針～ (平成29年3月) より

領域

①	人材育成の基本
②	資質と倫理
③	子どもの権利擁護
④	知識
⑤	子どもの支援技術
⑥	チームアプローチと機関協働
⑦	家族支援
⑧	里親・ファミリーホーム支援

7 費用 資料代 2,000円

8 申込期限 2019年(令和元年)8月19日(月)～10月18日(金)です。

9 申込方法

※申込にあたっては、経験年数等の受講要件を確認の上、所属されている機関・施設の長の承認を得てください。

1) あかしこども財団のホームページ (https://akashi-kodomo-zaidan.jp/index.php/news_list) の「お知らせ」に本研修についてのご案内を掲載しております。申込方法は、下記のとおりです。

① 西日本こども研修センターあかし児童養護施設職員指導者研修入力フォームによるお申込み
・「児童養護施設職員指導者研修申込フォーム」(<https://forms.gle/LquTfm2jd1AWAqFq9>) に必要事項を記入して申し込みください。

* 入力できない場合は、②をご覧ください。

・QRコードからも「児童養護施設職員指導者研修申込フォーム」を開くことができます。



② 入力フォームやQRコードの読み取りができない場合は、「児童養護施設職員指導者研修申込フォーム(Excel版)」をダウンロードの上、必要事項を入力したものをメールに添付して kensyu@akashi-nkcc.jp 宛てに送信して申込をしてください。

なお、メール表題につきましては、【児童養護施設職員指導者研修申込】と記載してください。

☆ ご不明な点がございましたら下記の〈問合せ先〉までお願いいたします。

2) 参加者の決定は、ご本人宛に研修参加決定通知書、費用振込先等をお送りします。連絡がない場合は、当センターまでお問い合わせください。

10 個人情報の取扱い

登録された個人情報は、当センターが行う、申込者との連絡、研修参加者に配布する参加者名簿の作成、業務統計、情報発信に使用します。それ以外の用途には、使用いたしません。

11 事前課題等の提出

事前課題等の提出をしていただきます。参加型研修のため、事前課題は重要な研修資料となります。事前課題は、機関・施設情報や参加動機を記載する「フェイスシート」、それぞれの機関・施設の現状等を把握する「アンケート」、実際に関わったケースをまとめる「ケース概要(2種類)」の4種類です。詳細は、参加決定通知書郵送時にお示しします。

< 問合せ先 >

西日本こども研修センターあかし (平日 AM8:55～PM5:40)
〒674-0068
兵庫県明石市大久保町ゆりのき通1丁目4-7 (あかし保健所1F)
TEL078-920-9675 FAX078-920-9671

Mail: info@akashi-nkcc.jp

【担当】 和仁・井上



(詳細)



(参考) 【宿泊施設情報】

明石観光協会のホームページをご覧ください。 (<https://www.yokoso-akashi.jp/stay>)